

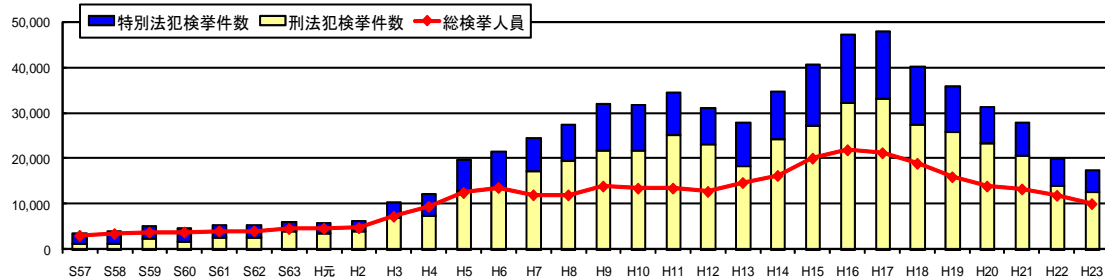
資

料

平成23年の来日外国人犯罪の検挙
状況について平成24年5月24日
警察庁

1 平成23年中の検挙状況

- 総検挙件数 17,272件 前年比 -2,537件(-12.8%)
- 総検挙人員 10,048人 同上 -1,810人(-15.3%)
- 総検挙件数・人員は、平成16・17年をピークに過去数年間減少傾向。



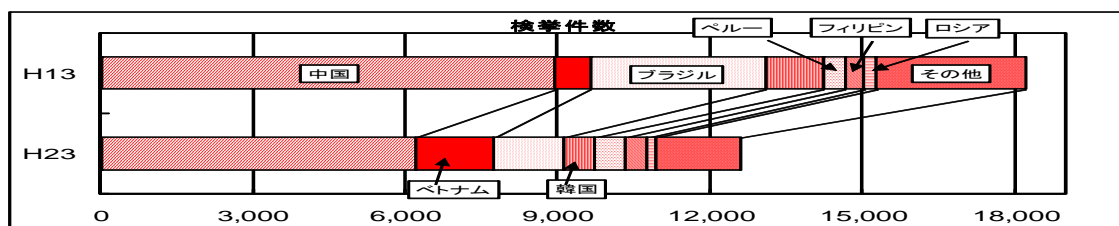
2 共犯率

- 刑法犯検挙事件において、来日外国人の共犯率は53.5%で、日本人の共犯率14.8%を大きく上回る。
- 来日外国人犯罪は、共犯者の国外逃亡、言語・習慣等の違いから捜査に困難を伴う。

来日外国人の刑法犯検挙事件			日本人の刑法犯検挙事件		
合計	単独犯	共犯	合計	単独犯	共犯
12,582	5,846	6,736	431,647	367,892	63,755
構成比	46.5%	53.5%	構成比	85.2%	14.8%

3 国籍等別検挙件数

- 刑法犯の国籍等別検挙件数は、10年前と比較し、中国、ブラジル及び韓国が大幅に減少し、ベトナム及びペルーなどは増加している。
- 刑法犯の検挙件数・人員とも、中国が最多で、窃盗の検挙件数の50.2%、知能犯の59.9%を中国が占める。
- 侵入窃盗は中国、自動車盗はブラジル、万引きはベトナムが多い。



4 在留資格別検挙人員

- 全刑法犯検挙人員に占める正規滞在者の割合は、10年前の80.8%から93.4%に増加している。
- 研修及びその他の正規滞在者（日本人配偶者等を含む。）が増加している。

